

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～

## 定期学習会の記録

2008/06/07 尾間木公民館

[参加者] 佐藤 郡司 金子 安藤 橋元 村松 三浦

### ■予定・近況確認

### ■公民館会議報告

### ■ビデオから学ぶ「世界が100人の村だったら3」

○フィリピンの少女「マニカ」 ゴミ山で働く少女

- ・フィリピンの貧しい面を知った。3回ご飯を食べるなど当たり前のことを客観的に考えられた。
- ・10時間でゴミ袋一杯、家族を支えることの大変さ。
- ・マンホールチルドレン、などの話を思い出した。
- ・自分は助けられないのかと思う。
- ・収容されるのではなく、きれいな所で人としてみてあげたい。
- ・日本にいと、分からないこと。こういうことを知って生活することは意味がある。
- ・日本にいと実感がない。日本の常識は世界の常識でない。日本は心が病んでいる。
- ・同じ時間を生きている視点を持つことが大切。

次回予定 6月21日(土)      ★欠席・遅刻の時は、三浦まで連絡。

☆今、支援を求めている国や物資などを調べ、自分たちにできることを考える。